

スタートアップガイド

2020年 11月 2版
CBZ-036016-001-01

使用上のご注意(必ずお読みください)

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。
本書は、必要とできるときに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本製品をご使用になる前に本書を必ずお読みください。
本書は大切に保管してください。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。
本書には本製品のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明しています。本書では、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義しています。

	警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	注意	火傷やケガなどを負うおそれや物的損傷を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。してはならない行為の内容を圖案化したものです。		(分解禁止)
	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を圖案化したものです。		(感電注意)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を圖案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。		(電源プラグを抜く)

(本書での表示例)

警告図記号	見出し文・説明文	損害の程度
	注意	
	ぬれた手で電源プラグを持たない	
	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。	

本書で使用する記号とその内容

行為の禁止

	分解禁止	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれ手禁止	ぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。
	火気禁止	火を近づけないでください。発火するおそれがあります。		水ぬれ禁止	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	接触禁止	指定された場所には触れないでください。感電や火傷などの障害のおそれがあります。		一般禁止	特定しない一般的な禁止を示します。

注意の喚起

	発火注意	発煙または発火のおそれがあることを示します。		感電注意	感電のおそれがあることを示します。
	ケガに注意	ケガをするおそれがあることを示します。		高温注意	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。
	破裂注意	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		一般注意	特定しない一般的な注意を示します。

行為の強制

	電源プラグをコンセントから抜く	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		一般指示	特定しない一般的な指示を示します。
--	-----------------	--	--	------	-------------------

安全上のご注意

一般的な注意事項

	警告		
			分解・修理・改造はしない 絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災のおそれがあります。
			針金や金属片を差し込まない 通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。
			煙や異臭、異音がしたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが発生した場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災のおそれがあります。

注意

				装置内に水や異物を入れない 本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。発煙・発火や感電、故障のおそれがあります。もし入ってしまったときは、ただちに電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解せずに販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
--	--	--	--	---

電源・電源コードに関する注意事項

	警告		
			ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。
			指定のコンセントに差し込む 指定された電圧のコンセントをお使いください。本製品に添付の電源コードを使用し、100Vのコンセントへ接続してください。指定以外で使うと火災や感電のおそれがあります。

注意

			たこ足配線にしない たこ足配線にしないでください。コンセントに定格以上の電源が流れることによって、過熱して発煙・発火のおそれがあります。
			添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない 添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。発煙・発火や感電のおそれがあります。
			電源コードのコネクタを持って引き抜く 電源コードを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、発煙・発火や感電のおそれがあります。
			確実に差し込む 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、発煙・発火のおそれがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、発煙・発火のおそれがあります。
			指定の電源コードを使用する 本製品に添付されている電源コードを使用してください。電源コードに定格以上の電流が流れると、発煙・発火のおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や発煙・発火を防止するために次の注意をお守りください。 ●ケーブル部分を引っ張らない。 ●電源コードをばさまない。 ●電源コードを折り曲げない。 ●電源コードに薬品類をかけない。 ●電源コードを束ねない。 ●電源コードを改造・加工・修復しない。 ●電源コードを踏まない。 ●電源コードをステープラなどで固定しない。 ●損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

	警告		
			コンセントの近傍に設置する 本製品はコンセントの近傍に設置してください。本製品がコンセントの近傍にないと発煙、異臭、異音などが生じたときに電源をすぐに遮断することができず、感電や火災のおそれがあります。

注意

			腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント基板が腐食・ショートし、故障および発煙・発火のおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。
			急激な温度変化環境で開梱または使用しない 本製品は、急激な温度変化を受ける環境で開梱または使用しないでください。結露により、故障および発煙・発火のおそれがあります。温度変化があった場合は、馴染み時間(放置時間)を十分にってから開梱または使用してください。
			指定の場所に設置・使用・保管する 本製品は設置に適した場所に置いてください。次に示すような場所に設置すると発煙・発火や故障のおそれがあります。 ■ ほこりの多い場所。 ■ 給湯器のそばなど湿気の多い場所。 ■ 直射日光が当たる場所。 ■ 不安定な場所。
			電源プラグを抜いてからインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをする インタフェースケーブルなどの取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触れると感電したり、ショートによる発煙・発火のおそれがあります。
			指定のインタフェースケーブルを接続する インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより発煙・発火のおそれがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 ■ 破損したケーブルコネクタを使用しない。 ■ ケーブルを踏まない。 ■ ケーブルの上にもものを載せない。 ■ ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
			インタフェースケーブルを持って引き抜かない ケーブルを抜くときはねじ止め等のロックを外し、コネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、発煙・発火や感電のおそれがあります。

ラックへの設置・取り扱いに関する注意事項

注意

	<p>定格電源を超える配線をしない 電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。定格負荷を超えるとやけどや発煙・発火、装置の損傷のおそれがあります。なお、電気設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。</p>
	<p>1人で設置をしない ラックへの設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてケガや周囲の破損のおそれがあります。特に高さのあるラック(44Uなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。必ず2人以上でラックを支えながら設置をしてください。</p>
	<p>1人で部品の取り付けをしない ラック用のドアやトレーなどの部品は2人以上で取り付けてください。部品を落として破損させるばかりでなく、ケガをするおそれがあります。</p>
	<p>複数台の装置をラックから引き出した状態にしない 複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてケガをするおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。</p>
	<p>荷重を分散して設置する ラック、および取り付けられた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてケガをするおそれがあります。</p>
	<p>ラックが安定した状態で装置をラックから引き出す ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。ラックが倒れてケガをするおそれがあります。</p>
	<p>装置の底面をしっかりと支えてラックから装置を取り出す ラックから装置を取り出す際は、必ずラックを底面からしっかりと手で支えて取り外してください。装置が落下してケガをするおそれがあります。</p>

運用中の注意事項

警告

	<p>雷がなったら触らない 雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本製品には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。</p>
--	---

注意

	<p>巻き込み注意 本製品の動作中は冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてケガをするおそれがあります。</p>
	<p>高温注意 本製品の使用中や電源をOFFにした直後にPCIボード周辺に触れないでください。高温となっている場合があり、やけどのおそれがあります。</p>

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告

	<p>分解・修理・改造はしない 絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災のおそれがあります。</p>
	<p>リチウムバッテリーを取り外さない 本製品内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。バッテリーを取り外さないでください。バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発のおそれがあります。また、リチウムバッテリーの寿命で本製品が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。</p>
	<p>電源プラグを差し込んだまま取り扱わない お手入れや、本製品の取り付け/取り外しは、本製品および接続機器の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災のおそれがあります。</p>

注意

	<p>高温注意 本製品の電源をOFFした直後は、高温になっていることがあります。十分にさめたことを確認してから本製品の取り付け/取り外しを行ってください。</p>
	<p>確実に取付ける 電源コードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火のおそれがあります。</p>

製品の譲渡と廃棄について

本製品または本製品に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)、廃棄するときは、次の注意を守ってください。

- 本製品を第三者に譲渡(または売却)するときは、装置に添付されている説明書一式(本書も含む)を一緒にお渡ください。譲渡する装置内に搭載されている HDD または SSD に保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないようお客様の責任において確実に処分してください。
- 本製品およびオプション製品などの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。本体に搭載されているバッテリーの廃棄(および交換)については、お買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。HDD、SSD、バックアップデータカードリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RW など)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

警告

	<p>リチウムバッテリーの取り外さない 本製品内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。リチウムバッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発のおそれがあります。また、リチウムバッテリーの寿命で本製品が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。</p>
--	---

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI - B

高調波電流規制について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本産業規格「電磁両立性 第3-2部: 限度値 - 高調波電流発生限度値 (1相当りの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計、製造した製品です。

回線への接続について

本製品は電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

本製品の用途について

本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本国内での使用を前提としています。
本製品を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、当社は直接、間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

マイナンバー情報について

本製品及び接続するPCなどの情報端末にマイナンバー情報を格納しないでください。該当情報が確認された場合は、保守対応などができないことがあります。また、お客様の故意または過失の有無にかかわらず、本保証の修理に関してお客様から当社が受領した電子データに個人番号が含まれていた場合、当社は当該個人番号につき何らの責任を負わないものとします。

瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

保守サービスについて

本製品は、弊社が提供する保守サービスを受けられることをおすすめします。保守サービスメニューにつきましては、弊社担当営業へお問い合わせください。

有寿命部品について

本製品には、有寿命部品(HDD、SSD、FANなど)が含まれています。長時間の連続使用などの使用状態によっては早期に交換が必要になります。有寿命部品の交換は有償となります。

航空・海上輸送について

本製品には、リチウム電池(ボタン型)を使用しています。リチウム電池の輸送は、航空・海上輸送規制が適用されます。本装置を航空機、船舶などで輸送するときは、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。



必ず、「使用上のご注意」をお読みください。 安全に関わる大切な注意事項が記載されています。

箱を開けてから本製品が使えるようになるまでの手順を説明します。
この スタートアップガイドに従って作業してください。
※より詳しい内容に関しては、添付のマニュアルCD内に格納されている取扱説明書を参照してください。

添付品の確認

本製品の梱包品の中には、装置本体以外にいろいろな付属品が入っています。梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。
万一、足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

- 電源コード ※1
- 電源コードクランプ
- ケーブルクランプ(USB/HDMI) x2
- マニュアルCD
- OS使用許諾書 ※2
- スタートアップガイド(本書)
- 保証書
- ゴム足
- リカバリーDVD ※2
- Win-PE使用許諾書 ※2

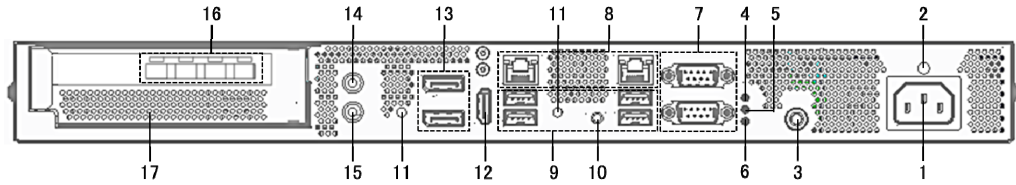
※1 電源コードを-20~-15℃環境で保管する場合、振動や衝撃、圧力等の外力を加えないでください。
※2 OSレスモデルには添付されません。



● 添付品は、なくさないよう大切に保管してください。

各部の名称と機能

装置前面



No.	名称	機能
1	電源コネクタ	添付の電源コードを接続する。
2	電源コードクランプ取付穴	添付の電源コードクランプを取り付ける。
3	電源スイッチ	電源のON/OFFに使用する。
4	電源LED	電源がONの時に緑色に点灯する。 スタンバイ時に緑色に点滅する。
5	DISK LED	DISKアクセス時に緑色に点滅する。
6	STATUS LED	エラーがある場合に赤色に点滅/点灯する。
7	シリアルポートコネクタ	シリアルインタフェースを持つコネクタと接続する。
8	LANコネクタ	LAN上のネットワークシステムを持つ機器との接続に使用する。
9	USBコネクタ	USB3.1Gen1 インタフェースを持つ機器との接続に使用する。
10	ダンプスイッチ	押すと、メモリダンプを実行する。
11	ケーブルクランプ(USB/HDMI)穴	添付のケーブルクランプ(USB/HDMI)を取り付ける。
12	ディスプレイコネクタ(HDMI)	HDMI インタフェースを持つディスプレイ機器との接続に使用する。 ※組込オプションのGAボード実装時に接続しないでください。
13	ディスプレイコネクタ(DisplayPort)	DisplayPort インタフェースを持つディスプレイ機器との接続に使用する。 ※組込オプションのGAボード実装時に接続しないでください。
14	ラインインコネクタ	ラインイン端子との接続に使用する。
15	ラインアウトコネクタ	ラインアウト端子(オーディオ機器など)を持つ機器との接続に使用する。
16	ディスプレイコネクタ(mini-DisplayPort)	DisplayPort インタフェースを持つディスプレイ機器との接続に使用する。 ※組込オプションのGAボード実装時のみ。
17	通気孔	筐体内部に外気を吸入する。

適切な場所への設置

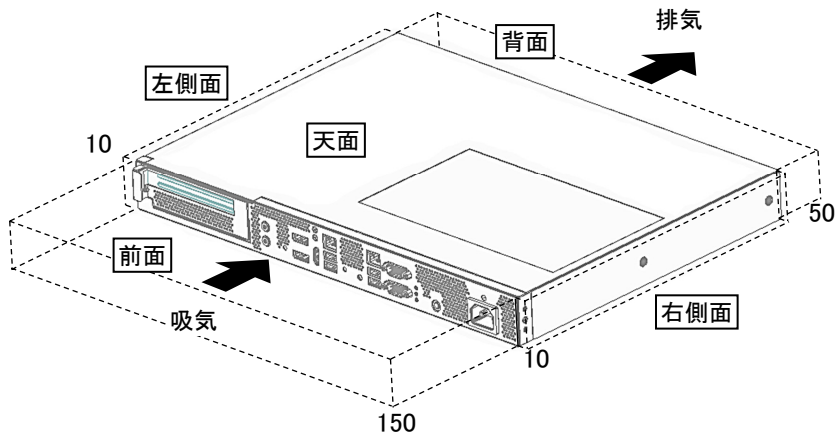
本製品の設置に適した場所は、次のとおりです。

本製品をしっかりと持ち、ゆっくりと静かに設置してください。

- 本製品の動作時に室内温度が5℃~40℃、および湿度が20%~80%の範囲を保てる場所。
(室内温度10℃~30℃の範囲が保てる場所での使用をお勧めします。)
- 100V AC、並行二極アースプラグ付きのコンセントの近傍。
本製品の近傍にコンセントがあり、コンセントには容易に手が届くように設置してください。
- ほこりの少ない、綺麗で整頓された場所。
- 直射日光の当たらない場所。
- 安定した場所。
- 通気孔を塞がないような十分な設置エリアを確保できる場所。

装置設置時の設置エリア寸法

位置	必要な空間[mm]	備考
前面	150	I/O 側(ケーブル接続エリア含む)
背面	50	
天面	0	
底面	0	
右側面	10	
左側面	10	



配線(ケーブル類の接続)には設置エリア以上の空間が必要です。



● 本製品を設置する前に、必ず、添付の電源コードクランプ、ケーブルクランプ(USB/HDMI)を本製品の前面の取り付け穴に「カチッ」とはまるまで差し込んで取り付けてください。

周辺機器とケーブルの接続

本製品に周辺機器を接続します。本製品の前面には、さまざまな周辺機器と接続できるコネクタが用意されています。

本製品が標準の状態では接続できる周辺機器とそのコネクタの位置は取扱説明書を参照してください。
周辺機器を接続してから添付の電源コードを本製品に接続し、電源プラグをコンセントにつなげます。



● 本製品に添付の電源コードは100V AC 用であり、125V ACを超える電源につなぐ場合には、専用の電源コードが必要になります。
お客様にて電源コードをご用意いただくか、お買い求めの販売店にご連絡ください。



● 電源コード接続直後は、自動的に電源がONになり、数秒後自動的にOFFになります。

基本操作 電源の ON

本製品の電源は、装置前面にある電源スイッチを押すとONの状態になります。
次の順序で電源をONにします。



● 本製品の電源をON にする前にディスプレイのインタフェースケーブルを本製品に接続し、ディスプレイの電源をON にしてください。

1. 本製品の電源コネクタに電源コードを接続します。
2. 電源コードを接続すると電源LEDが一度点灯し、消灯します。
消灯したのを確認してから、装置前面の電源スイッチを押します。



● 電源スイッチを押した後、電源LEDの点灯、消灯を繰り返すことがありますが、製品仕様通りであり、故障ではありません。
● 停電が発生したときなどは保護回路が動作する場合があります。保護回路が動作すると電源ON しても起動しないため、その場合は電源コードを抜き(AC 入力を遮断する)、3 分~5 分経過後に再度電源コードを接続して、本製品の電源をON してください。

基本操作 電源の OFF

次の順序で電源をOFF にします。

1. OS をシャットダウンします。
2. 周辺機器の電源をOFF にします。



● 本製品が起動しているときに電源スイッチを押すと本製品がOSからシャットダウンします。
● 不意に電源スイッチを押さないよう注意してください。
● 本製品の電源を一度OFF した後、再びON にするときは10 秒以上経過してからにしてください。

OS のセットアップ

OSの初回起動時は次のセットアップ画面が表示されます。必要な情報をあらかじめ確認しておくことをお勧めします。

OSセットアップ完了までには約45分かかります。

- 1) 本製品にキーボードとマウスを接続してください。
- 2) 本製品の電源をONします。
- 3) パーティションの作成やOSの展開が自動で開始し、OS展開が終了すると再起動し、「Windows へようこそ」が表示されます。
- 4) 表示言語、地域、キーボードレイアウト、の選択を行います。一度再起動します。この間操作は不要です。
- 5) 使用者、パスワード(省略可能です。)を入力します。一度再起動します。この間操作は不要です。
- 6) デスクトップ画面が表示された後、ドライバやアプリケーションが自動でインストールされ、何度が再起動を行います。この間操作は不要です。
インストール中はコマンドプロンプトの背景が白色と黒色になります。
再起動を待っている状態では、コマンドプロンプトの背景が黄色になります。
エラーが発生した場合はコマンドプロンプトの背景が赤色になります。
※エラーの対処はマニュアルCDに格納されている取扱説明書を参照してください。
- 7) 背景が水色のコマンドプロンプトに「Complete」と表示されたら、スペースキーを押して、コマンドプロンプトの画面を閉じてください。
以上で、OSのセットアップは完了です。

リカバリーDVDによる OS の再セットアップ

本製品に添付するリカバリーDVDを用いて、工場出荷時の状態に戻すことができます。

本製品にUSB接続可能なDVD-ROMドライブとキーボードとマウスをお客様でご用意ください。

<再セットアップの手順>

- 1) キーボードとマウス、DVD-ROMドライブを本製品に接続しリカバリーDVDをセットします。
DVD-ROMドライブは再セットアップが完了するまで取り外さないでください。
- 2) 本製品の電源をONします。
- 3) 「Press any Key to boot from CD or DVD...」と表示されている間にEnterキーを押します。
- 4) パーティションの作成やOSの展開が自動で開始し、OS展開が終了すると再起動し、「Windows へようこそ」を開始します。
- 5) 表示言語、地域、キーボードレイアウト、の選択を行います。一度再起動します。この間操作は不要です。
- 6) 使用者、パスワード(省略可能です。)を入力します。一度再起動します。この間操作は不要です。
- 7) デスクトップ画面が表示された後、ドライバやアプリケーションが自動でインストールされ、何度が再起動を行います。この間操作は不要です。
インストール中はコマンドプロンプトの背景が白色と黒色になります。
再起動を待っている状態では、コマンドプロンプトの背景が黄色になります。
エラーが発生した場合はコマンドプロンプトの背景が赤色になります。
※エラーの対処はマニュアルCDに格納されている取扱説明書を参照してください。
- 8) 背景が水色のコマンドプロンプトに「Complete」と表示されたら、スペースキーを押して、コマンドプロンプトの画面を閉じてください。
以上で、リカバリーDVDからの再セットアップは完了です。DVD-ROMドライブを取り外してください。

Unified Write Filter(UWF)について

本製品では、予期せぬ電源断への対策として、OSのシステム領域の保護を行うためにRAM Overlay Type (RAM Reg モード)のUWF機能を採用しています。UWFの詳細については、下記サイトもしくはその後継サイトを参照してください。

UWFについて:

<https://docs.microsoft.com/en-us/windows/configuration/wcd/wcd-unifiedwritefilter>

工場出荷時点の設定では、UWF機能は無効です。UWFを有効化あるいは無効化するには次の手順を行ってください。



● Administrator 権限を持ったユーザーでログインして実行してください。
● uwfmg.exe コマンドをコマンドプロンプト等から実行する場合、「管理者として実行」した状態で実行する必要があります

<UWFの有効化手順>

- 1) UWFを有効にすると、仮想メモリの設定が削除されるため、現在の仮想メモリの設定を確認してください。
1. 設定 → システム → バージョン情報 → 「関連設定」下の「システム情報」→ 左のペインの「システムの詳細設定」をクリックします。
2. 「詳細設定」→ 「パフォーマンス」の「設定」→ 「詳細設定」タブ→「仮想メモリ」の「変更」をクリックします。
3. 仮想メモリの設定をメモしてください。
- 2) C ドライブをUWF でプロテクトする場合は、イベントログフォルダーなど、除外するフォルダーなどをあらかじめ設定してください。
コマンド例:
uwfmg.exe file add-exclusion c:\Windows\system32\winevt\Logs
※上記「c:\Windows\system32\winevt\Logs」はイベントログフォルダーです。

- 3) UWF で保護するドライブを指定してください。
コマンド例:
uwfmg.exe volume protect c:
※上記は C ドライブをUWF で保護する場合のコマンド例です。

- 4) UWF による保護を有効化してください。
コマンドライン:
uwfmg.exe filter enable
- 5) 再起動する前に、仮想メモリの設定を実施します。
1. 設定 → システム → バージョン情報 → 「関連設定」下の「システム情報」→ 左のペインの「システムの詳細設定」をクリックします。
2. 「詳細設定」→ 「パフォーマンス」の「設定」→ 「詳細設定」タブ→「仮想メモリ」の「変更」をクリックします。
3. (1)でメモした仮想メモリの設定を実施し、「設定」をクリック後、「OK」をクリックしてください。



● 仮想メモリが (3) で設定する UWF で保護するドライブに設定されていた場合は、UWF で保護しないドライブに設定を変更してください。

4. 「変更結果はコンピューターを再起動しなければ有効になりません」と表示されるので「OK」をクリックしてください。
5. 「OK」→「OK」とクリックすると、「これらの変更を適用するにはコンピューターを再起動する必要があります」と表示されているので、「今すぐ再起動する」を選択し、再起動してください。

次の起動時には UWFは有効な状態で起動されます。

<UWFの有効化手順>

UWFを無効化したい場合は「uwfmg.exe filter disable」を実行してください。

● UWFを利用する際の注意事項
● 保護対象のボリュームに対して何らかの変更を加える場合(ドライバやアプリケーション等のインストールなどシステムに変更を加える場合も含む)は、必ずUWFを無効にしてから変更を加えてください。UWFが有効の状態では変更を加えても、再起動するとその変更は全て破棄されます。

- UWFのRAMリソースを使い果たすと、システムが正常に動作しなくなることがあります。この場合は再起動を行ってください。特に、保護が有効になっているボリュームに対してアプリケーションからの頻繁な書き込み等を行うとメモリ枯渇の原因となるため、不要な書き込みが発生しないようにしてください。
- UWFの利用可能なRAM リソースを確認するには、[タスクマネージャー]→[パフォーマンス]タブの [物理メモリ]→[利用可能]の値を参照してください。
- UWFで保護されたボリュームをダイナミックディスクにしないでください。
- UWFで保護されたボリュームのファイルシステムがNTFSの場合は、NTFSの圧縮はしないでください。
- UWFは機器やファイルの破損を100%防止する機能ではありません。
- 無効化後に再度UWFを有効化すると、仮想メモリの設定も再びクリアされます。そのため、UWFを有効化するたびに仮想メモリも再設定が必要となります。ページングファイルが「なし」のまま起動すると、以下の現象が発生します。

- ダンプを採取できません。
- 起動時に下記ログがイベントログ(system)に登録されます。

- ✦ ID: 46 ソース: volmgr
- ✦ レベル: エラー
- ✦ 説明: クラッシュダンプの初期化に失敗しました。

OS・ソフトウェアに関する注意事項について

本製品にプリインストールされているOSおよびソフトウェアには、ライセンス上および運用上の注意事項があります。使用する際は使用許諾書および取扱説明書に記載している注意事項を良く理解した上で使用してください。

Windows Updateについて

OS のセキュリティ対策等の修正には、各OS 用の修正モジュールの適用が必要です。修正モジュールは、システムの構築を担当するSE/Sier 様にて適用してください。

修正モジュール適用の際には、お客様の利用環境での動作確認を実施してください。

OSレスモデルについて

OSレスモデルにおけるOS、ドライバは、お客様責任によるお客様ご自身の準備となります。

必ず事前に実機で十分な動作確認を行ってください。

重要 本製品に関する情報は以下のWebページを参照してください。
BIOS、ドライバなどのアップデート情報を掲載しています。
システムの安定稼働のため、定期的にWebページを参照頂き、常に最新のアップデートを適用することをお勧めいたします。
<https://www.necplatforms.co.jp/>

製品仕様

項目		Display Controller
CPU		Intel® Celeron® G4900T Processor (2.9GHz、2core), Intel® Core™ i3-9100TE Processor(2.2GHz、4core), Intel® Xeon® E-2278GEL Processor(2.0GHz、8core)
Chipset		Intel® C246 Chipset
Memory	Type	DDR4 non-ECC Un-buffered DIMM
	MAX	32GB (16GB x2)
Graphics		チップセット内蔵
外部I/F	Serial	RS232C 2ch
	Graphics	DisplayPort 2ch HDMI 1ch
	Sound	Line-in / Line-out
	USB	USB3.1Gen1 4ch
	LAN	10/100/1000Base-T 2ch
Boot デバイス	Interface	SATAⅢ
	容量	HDD: 1TB, SSD: 120GB
拡張スロット	Type	PCI Express x16
	スロット	1Slot
OS		Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC x64(64bit), OS Less
外形寸法 (WxDxH)		432 × 314 × 43.5mm (突起部含まず)
質量		Max 5.0kg
電源		100 - 240V AC ± 10% ・ 50/60Hz ± 1Hz
消費電力		Max 140W
動作環境	温度	5°C ~ 40°C
	湿度	20% ~ 80% (結露しないこと)
保管環境	温度	-20°C ~ 60°C
	湿度	20% ~ 90% (結露しないこと)
適合規格		VCCI Class-B

商標について

Microsoftは米国Microsoft Corporationおよびその関連会社の商標です。

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Intel Xeon、Core、Celeronはアメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

HDMITM
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

© NEC Corporation 2020

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。